

2021年3月期 第2四半期 決算ご説明資料

2020年11月4日
八千代工業株式会社

■ 決算説明

■ 事業の方向性

■ 決算説明

■ 事業の方向性

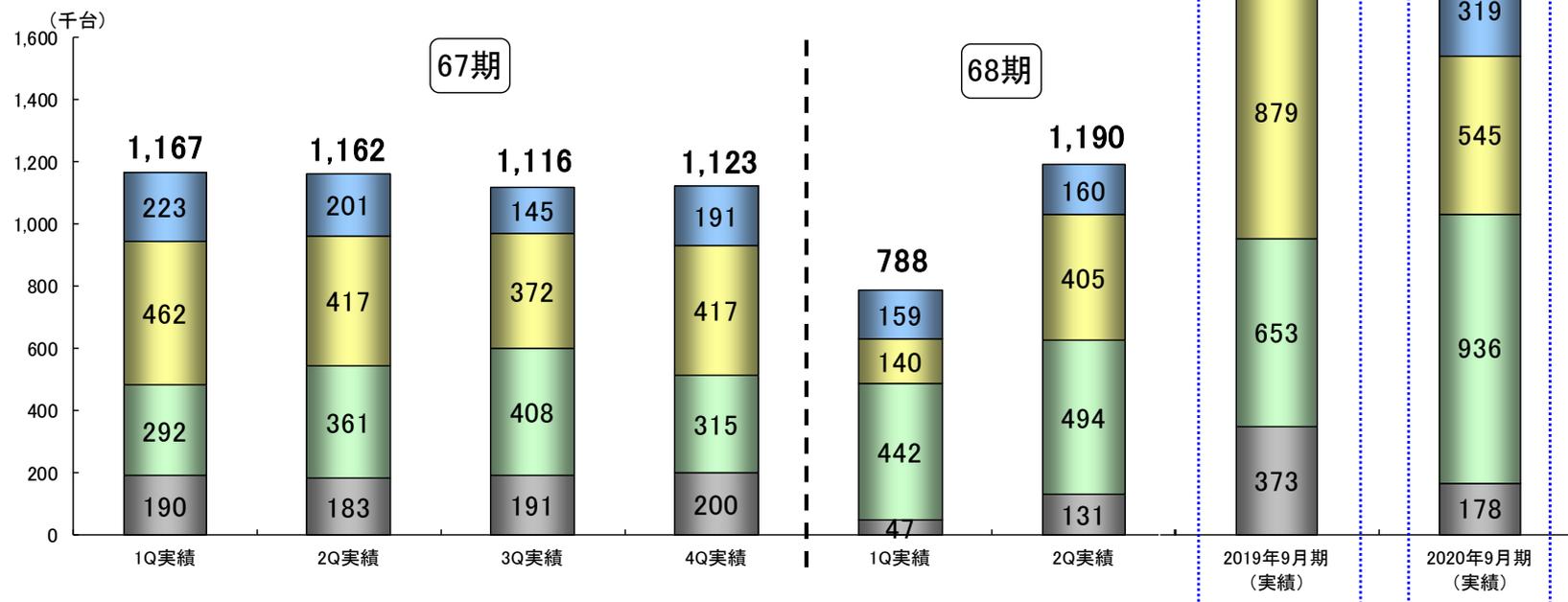
| | 2019年9月期 (実績) | 2020年9月期 (実績) | 前年同期比 (増減率) |
|------------------------------------|------------------|-------------------|---------------------|
| 売上収益 | 788億円 | 699億円 | -88億円 (-11.2%) |
| 営業利益 (対売上収益比率) | 31.1億円 (3.9%) | 13.6億円 (2.0%) | -17.4億円 (-56.1%) |
| 税引前四半期利益 (対売上収益比率) | 28.8億円 (3.7%) | 12.7億円 (1.8%) | -16.1億円 (-56.0%) |
| 親会社の所有者に 帰属する四半期利益 (対売上収益比率) | 3.2億円 (0.4%) | -5.7億円 (-0.8%) | -8.9億円 (-%) |
| 為替レート (USドル) | 109円 | 107円 | 2円 円高 |

2021年3月期（6ヵ月間）燃料タンク概況

| | 2019年9月期 (実績) | 2020年9月期 (実績) | 前年同期比 (増減率) |
|--------|------------------|------------------|--------------------|
| 生産台数合計 | 2,329千台 | 1,978千台 | -351千台 (-15.1%) |
| 日本 | 424千台 | 319千台 | -105千台 (-24.8%) |
| 米州 | 879千台 | 545千台 | -334千台 (-38.0%) |
| 中国 | 653千台 | 936千台 | +283千台 (+43.3%) |
| アジア | 373千台 | 178千台 | -195千台 (-52.3%) |
| 売上収益 | 217億円 | 205億円 | -12億円 (-5.5%) |
| 内、為替影響 | - | -2億円 | -10億円 (-4.6%) |

← 実質的な売上減

■日本 ■米州 ■中国 ■アジア

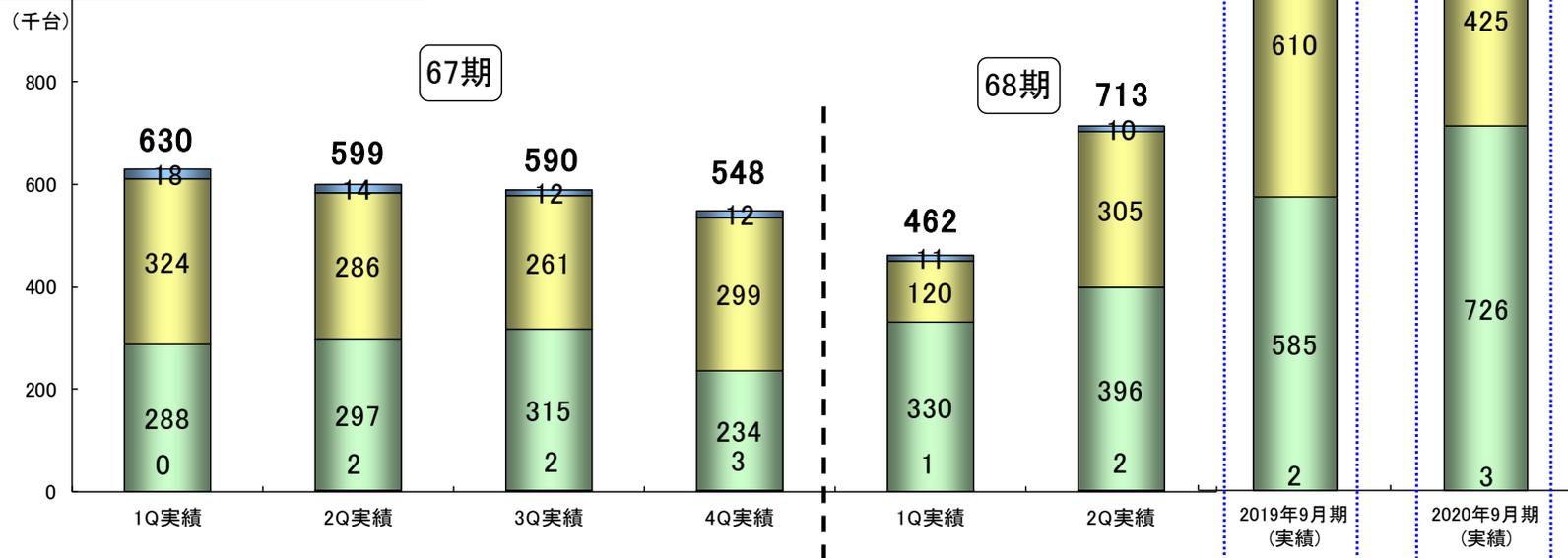


2021年3月期（6カ月間） サルーフ概況

| | 2019年9月期 (実績) | 2020年9月期 (実績) | 前年同期比 (増減率) |
|--------|------------------|------------------|--------------------|
| 生産台数合計 | 1,229千台 | 1,175千台 | -54千台 (-4.4%) |
| 日本 | 32千台 | 21千台 | -11千台 (-32.4%) |
| 米州 | 610千台 | 425千台 | -185千台 (-30.2%) |
| 中国 | 585千台 | 726千台 | +141千台 (+23.9%) |
| アジア | 2千台 | 3千台 | +1千台 (+21.5%) |
| 売上収益 | 232億円 | 239億円 | +7億円 (+3.3%) |
| 内、為替影響 | - | -6億円 | +13億円 (+5.8%) |

← 実質的な売上増

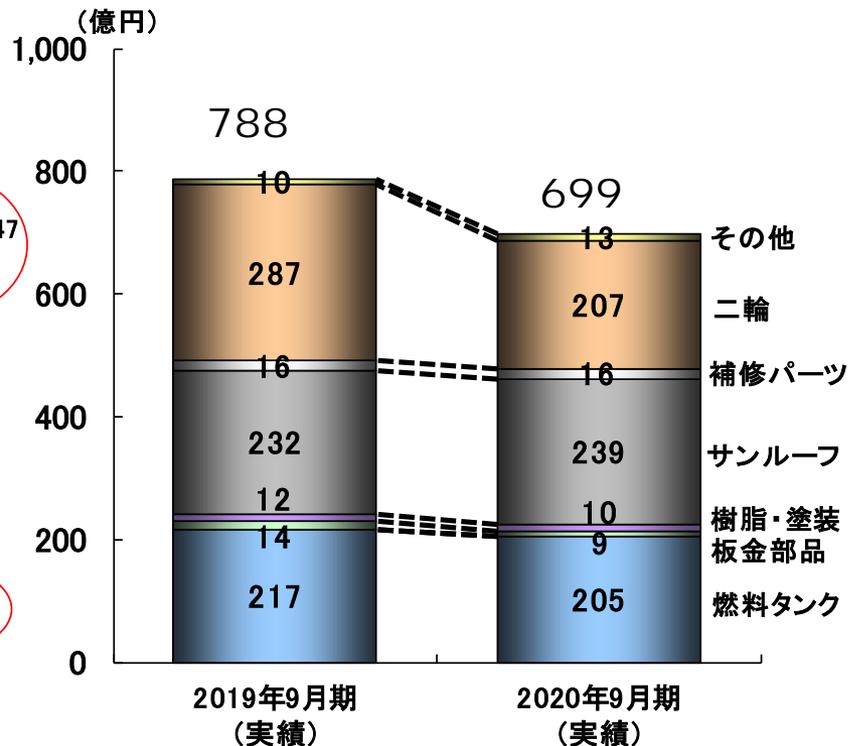
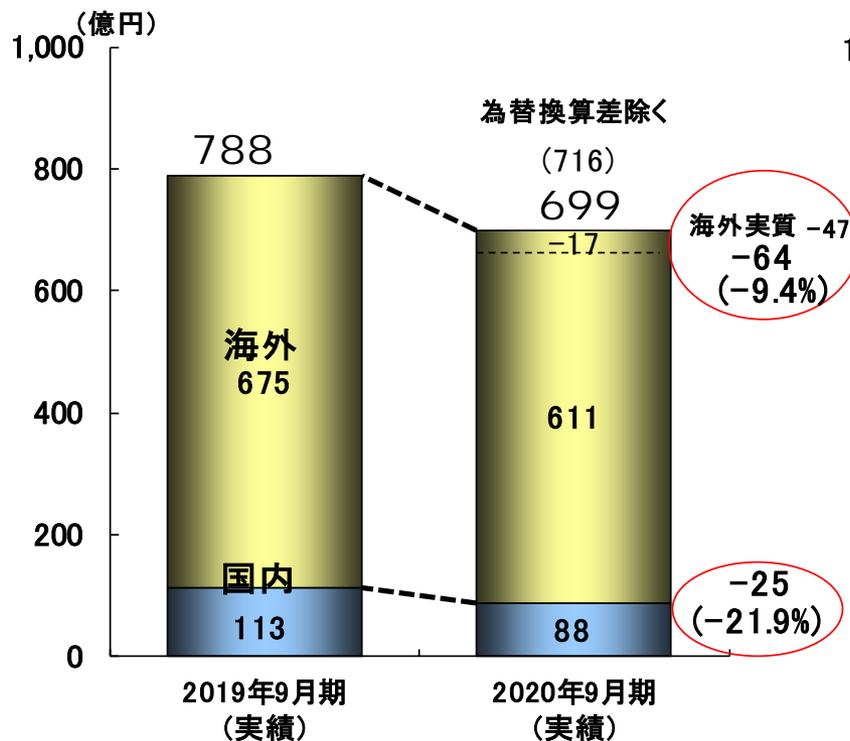
■日本 ■米州 ■中国 ■アジア

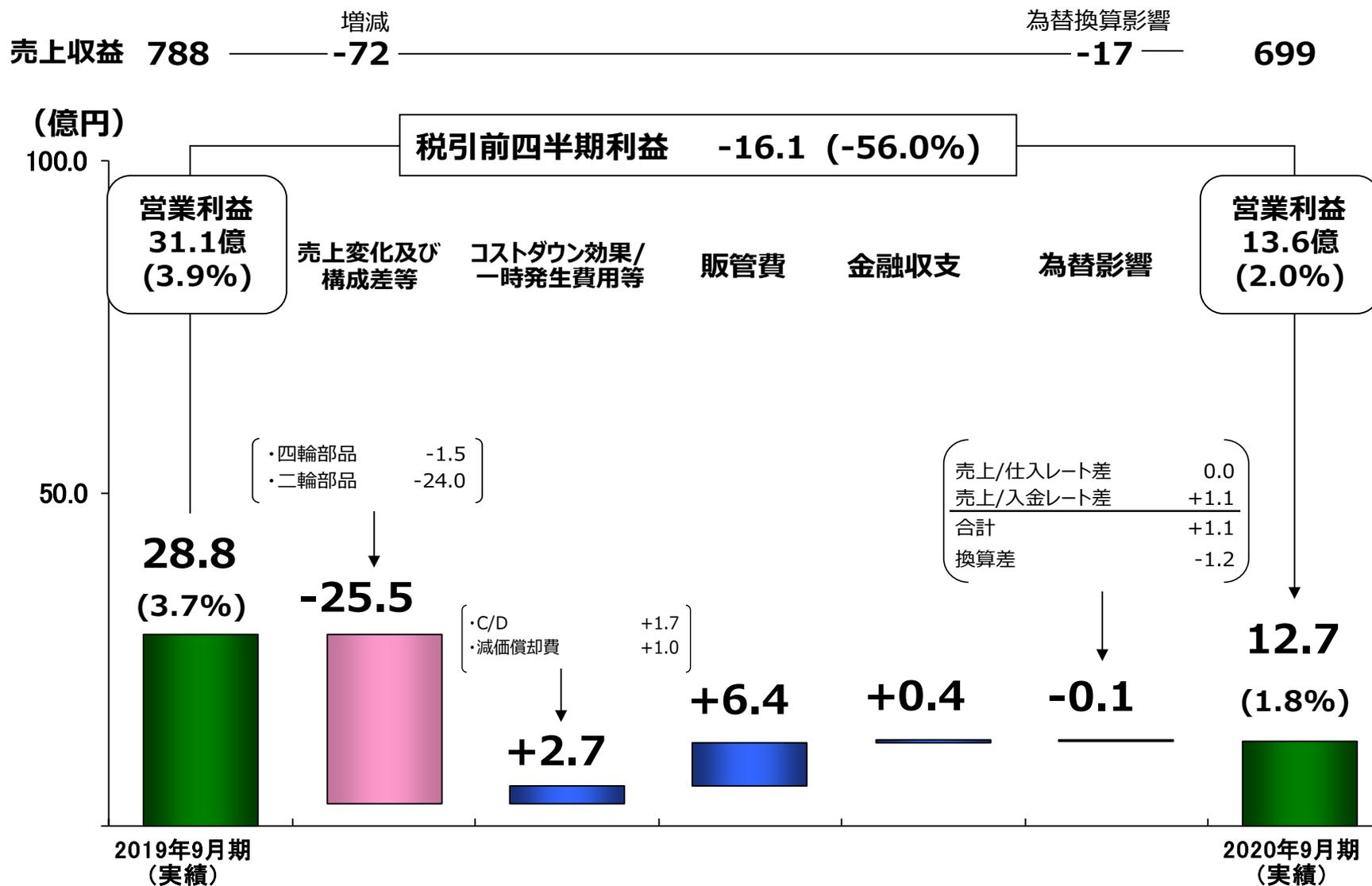


| | 2019年9月期 (実績) | 2020年9月期 (実績) | 前年同期比 (増減率) |
|------|------------------|------------------|-------------------|
| 売上収益 | 788億円 | 699億円 | -88億円 (-11.2%) |

国内／海外区分

部品別区分





【日本】

| | |
|-----------------|-------------|
| 売上収益 | -24 |
| ・四輪部品売上減 | -14 |
| ・二輪部品売上減 | -10 |
| 税引前四半期利益 | +4.6 |
| ・売上変化及び機種構成差 | -5.5 |
| ・償却費減 | +2.5 |
| ・販管費減 | +4.6 |
| ・為替影響 | +2.9 |
| ・金融収支 | +0.1 |

【米州】

| | |
|-----------------|--------------|
| 売上収益 | -67 |
| ・部品売上減 | -64 |
| ・為替影響 | -3 |
| 税引前四半期利益 | -24.7 |
| ・売上変化及び機種構成差 | -22.3 |
| ・償却費増 | -0.4 |
| ・為替影響 | -2.0 |

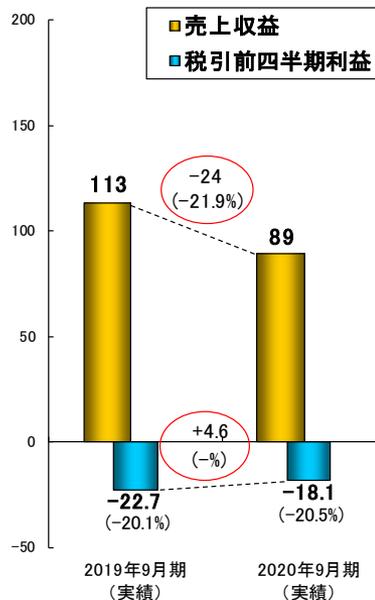
【中国】

| | |
|-----------------|--------------|
| 売上収益 | +87 |
| ・部品売上増 | +95 |
| ・為替影響 | -8 |
| 税引前四半期利益 | +28.6 |
| ・売上変化及び機種構成差 | +28.3 |
| ・償却費増 | -1.7 |
| ・コストダウン他 | +2.8 |
| ・為替影響 | -1.2 |
| ・金融収支 | +0.4 |

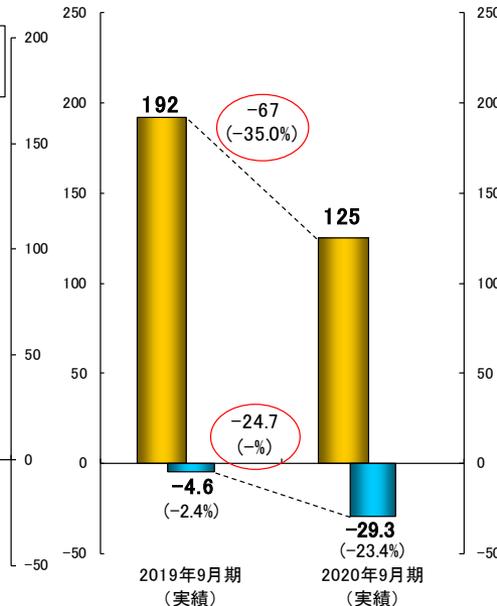
【アジア】

| | |
|-----------------|--------------|
| 売上収益 | -83 |
| ・四輪部品売上減 | -12 |
| ・二輪部品売上減 | -65 |
| ・為替影響 | -6 |
| 税引前四半期利益 | -25.2 |
| ・売上変化及び機種構成差 | -25.4 |
| ・販管費減 | +0.7 |
| ・為替影響 | +0.2 |
| ・金融収支 | -0.7 |

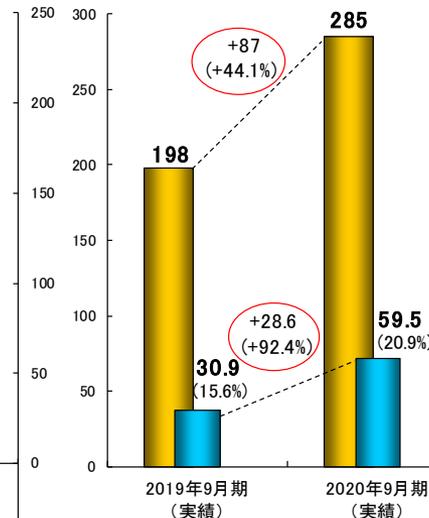
(単位: 億円)



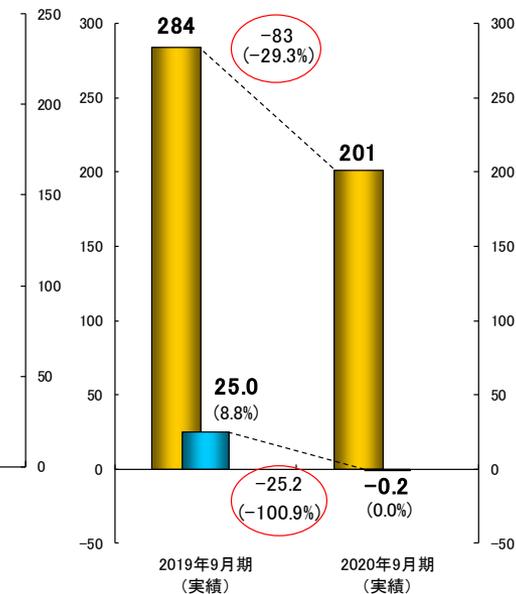
(単位: 億円)

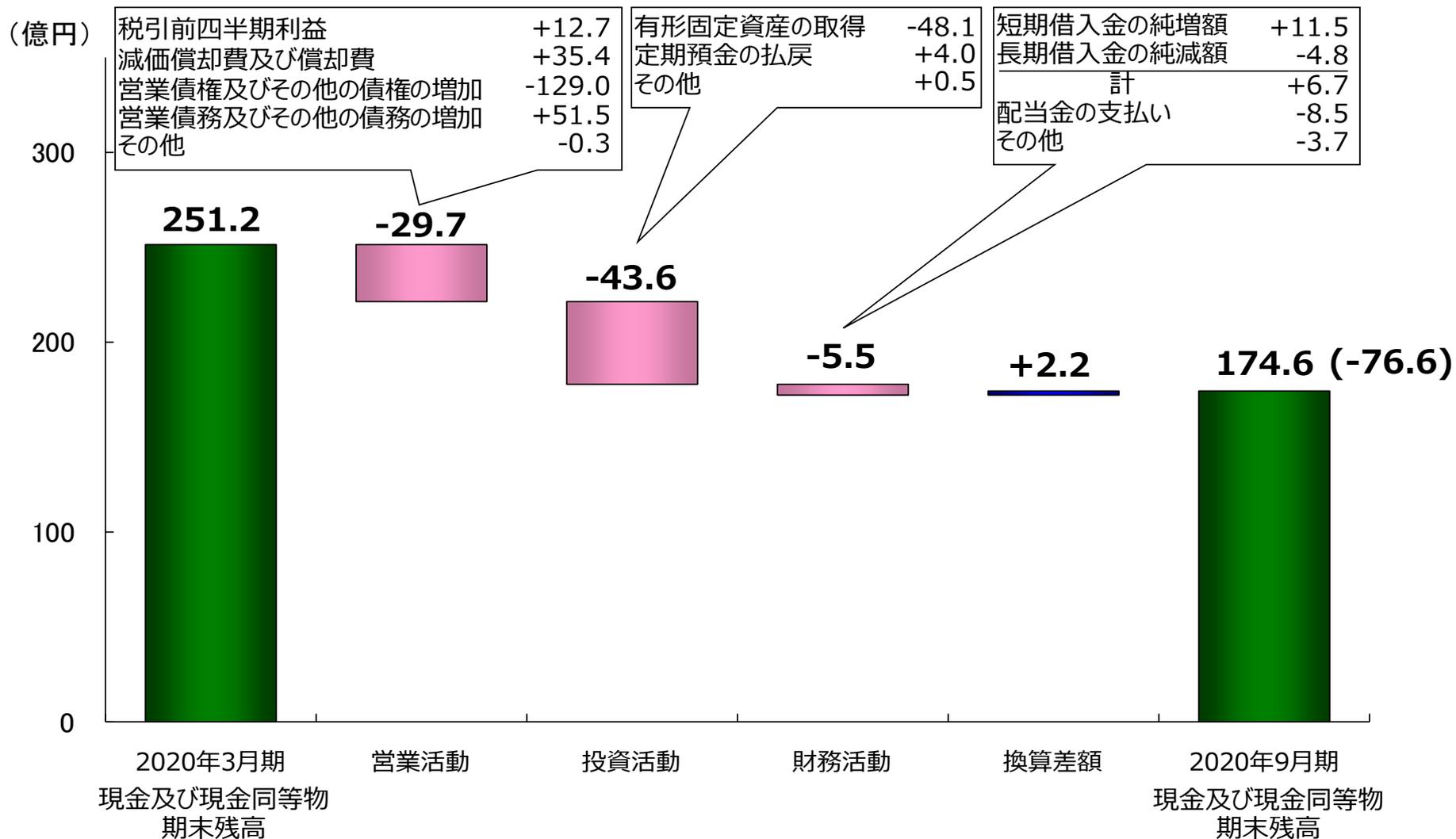


(単位: 億円)



(単位: 億円)





| | 2020年3月 | 2020年9月 | 増減 | コメント |
|-----------------|---------|---------|-------|---|
| 資産合計 | 1,172億円 | 1,232億円 | +60億円 | 営業債権及びその他の債権 +132億円 棚卸資産 +8億円 現金及び現金同等物 -76億円 |
| 負債合計 | 563億円 | 645億円 | +82億円 | 営業債務及びその他の債務 +46億円 その他の流動負債 +10億円 借入金 +6億円 |
| 親会社持分 | 474億円 | 467億円 | -7億円 | 包括利益 -7億円 |
| 非支配持分 | 135億円 | 121億円 | -14億円 | 包括利益 -6億円 配当 -8億円 |
| 資本合計 | 609億円 | 588億円 | -21億円 | ————— |
| 負債及び資本合計 | 1,172億円 | 1,232億円 | +60億円 | ————— |
| 有利子負債残高 | 209億円 | 215億円 | +6億円 | 日本 +16億円 米州 -10億円 |
| 親会社所有者帰属持分比率 | 40.4% | 37.9% | -2.6P | ————— |
| 有利子負債依存度 | 17.8% | 17.4% | -0.4P | ————— |
| 1株当たり親会社所有者帰属持分 | 1,973円 | 1,945円 | -28円 | ————— |

| | 2020年3月期 (実績) | 2021年3月期 (見通し) | 前年度比 (増減率) |
|-----------------------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| 売上収益 | 1,546億円 | 1,400億円 | -146億円 (-9.5%) |
| 営業利益 (対売上収益比率) | 9.9億円 (0.6%) | 18.0億円 (1.3%) | +8.1億円 (+81.4%) |
| 税引前当期利益 (対売上収益比率) | 8.1億円 (0.5%) | 17.0億円 (1.2%) | +8.9億円 (+110.8%) |
| 親会社の所有者に 帰属する当期利益 (対売上収益比率) | -31.7億円 (-2.0%) | -11.0億円 (-0.8%) | +20.7億円 (-%) |
| 為替レート (USドル) | 109円 | 107円 | 2円 円高 |

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年7月31日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

| | 2020年 3月期 | 2021年3月期 (予定) | | 前年度比 (増減) |
|--------|--------------|------------------|----|--------------|
| | | 期初 | 今回 | |
| 中間配当金 | 8円 | (0円) | 0円 | -8円 |
| 期末配当金 | 0円 | 未定 | 未定 | - |
| 年間配当金 | 8円 | 未定 | 未定 | - |
| 連結配当性向 | -% | -% | -% | - |

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。尚、上記の不確定性及び変動可能性を有する要素としては、主に以下のようなものがあります。

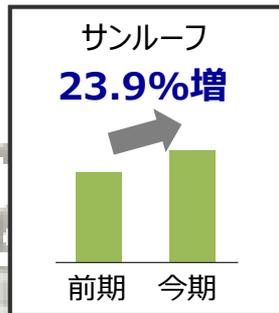
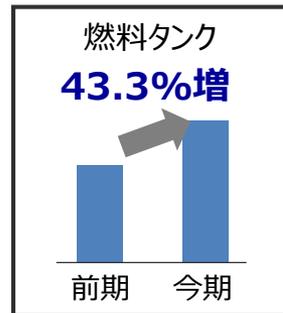
- ・主要市場における経済情勢及び需要の変動
- ・為替相場の変動
- ・主要市場における貿易規制等の各種規制
- ・主要市場における政治情勢
- ・当社が事業活動を行う上生じる当社の責めに帰すことのできない様々な障害

■ 決算説明

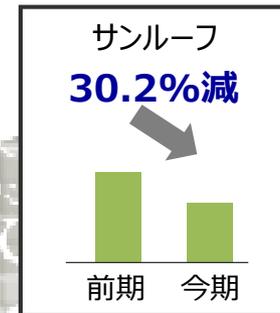
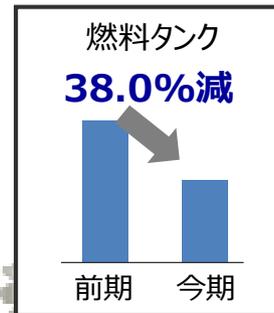
■ **事業の方向性**

コロナ禍の各地域生産状況（上期実績）

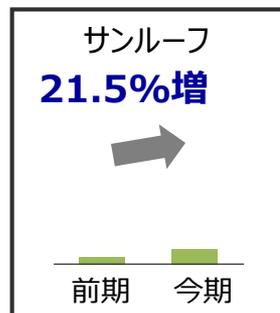
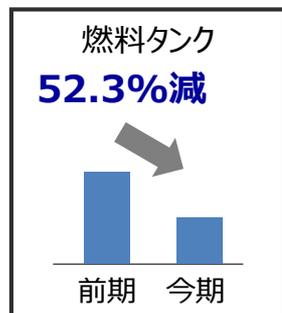
中国



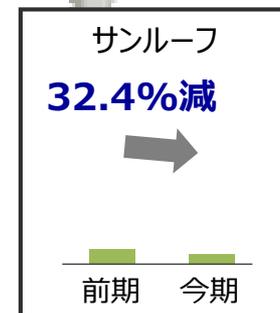
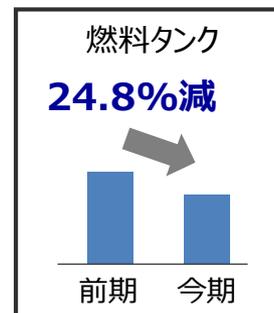
米州



アジア



日本



Vision 2030

たゆ

ものづくりの弛まぬ進化でモビリティのキーカンパニーになる

存在意義・果たすべき使命（ミッション）

“心をこめたものづくり”で世界中の人たちを笑顔にする

強み（コアコンピタンス）

ものづくり力



人間力

ヤチヨ企業理念

基本理念

人間尊重

顧客第一

社是

わたしたちは、世界的視野に立ち、お客様の満足のために、
卓越した技術と特長ある製品を供給する

Vision 2030

たゆ
ものづくりの弛まぬ進化で
モビリティのキーカンパニーになる

第14次中期 (20-22中期)

さらなる成長の基盤づくり

基盤の確保 健全化 風土改革

重点施策

- ・ 競争力強化・ものづくり進化
- ・ 事業基盤の盤石化
- ・ グローバルQD体質の強化
- ・ 人と組織の活性化・人材強化
- ・ 企業価値向上に向けたサステナビリティ展開

第15次中期 (23-25中期)

事業体質の盤石化

新たな技術・製品、風土改革が完了

第16次中期 (26-28中期)

飛躍に向けたチャレンジ

変革した要素で独創性を発揮し、新たな創造へ進む

2020

2025

2030

成長

飛躍



生産改革

現状の生産規模でも確実に収益を上げる 筋肉質な生産体質へ

樹脂製燃料タンクにおける施策事例

ハード施策

～グローバル高位平準化に向けて～

成形領域

- ・拠点内フレキシブル生産体制構築
- ・均質形状化・安定冷却ライン
- ・工程シンプル化による不稼働ロス削減

二次加工領域

- ・シングル/ダブル併用セルライン（中国・アジア地域）
- ・全機種対応フル自動化ライン（日本・米国）

ソフト施策

～徹底した原価改善に向けて～

Q（品質）

- ・品質基準適正化
- ・溶着保証/管理方法の効率化

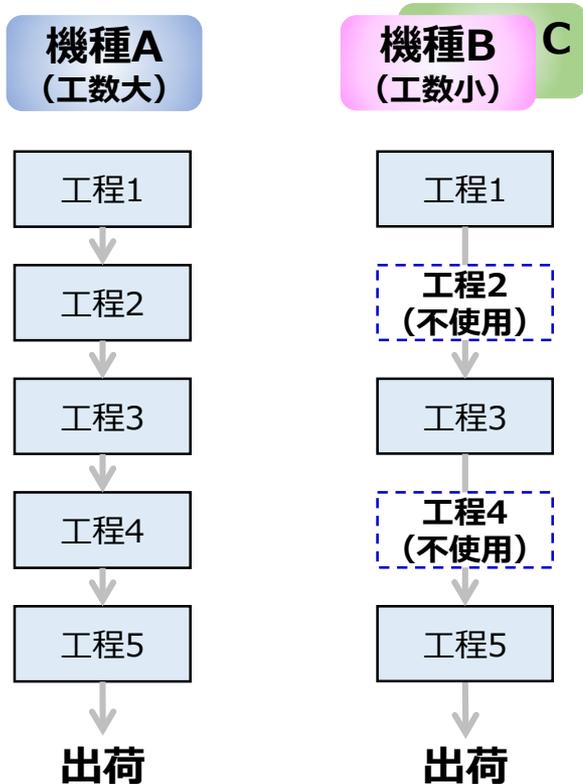
C（価格）

- ・樹脂材使用効率向上

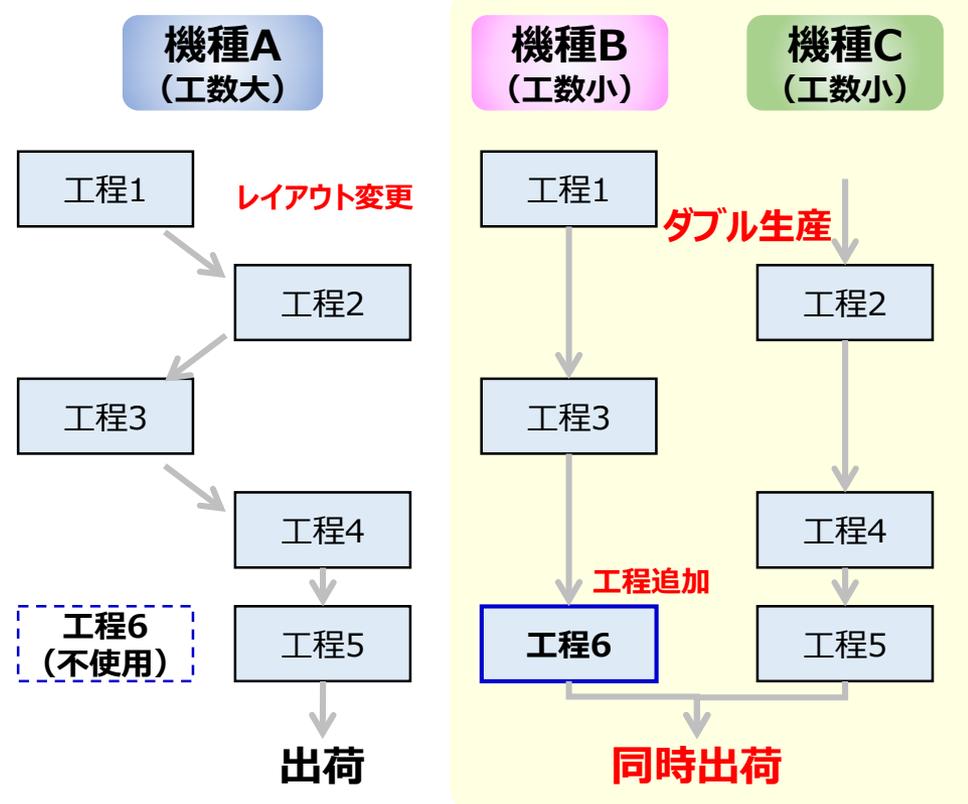
D（納期）

- ・機種引当て生産ラインの
見直しによる負荷平準化

現状生産方法



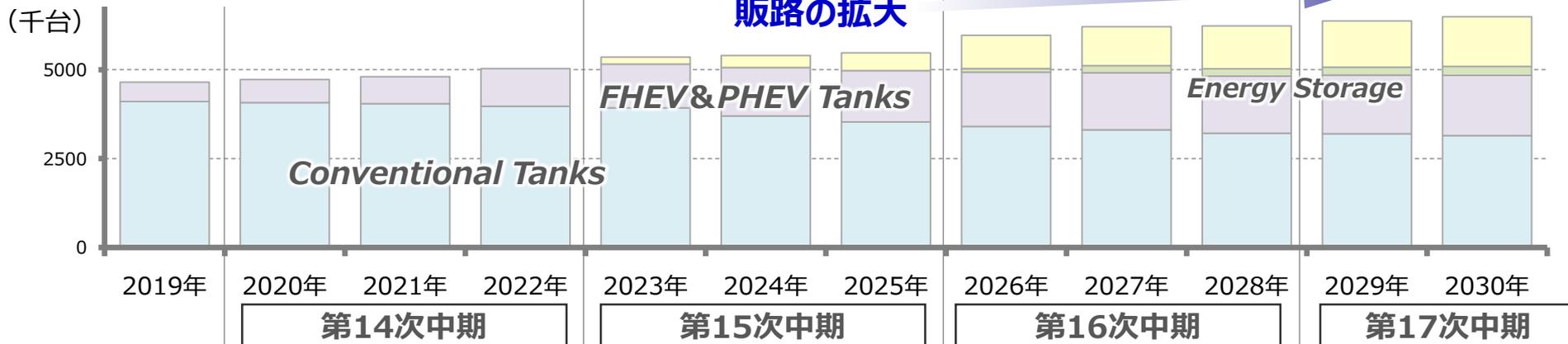
施策：フレキシブル生産体制



一つのライン上で工数小機種を同時生産することで生産効率の向上を図る

主力製品の方向性 (燃料タンク)

〈生産台数見通し〉



〈開発進化〉

地域・法規・ニーズに
合わせた最適商品開発

◆ エネルギーストレージ (天然ガス/水素)

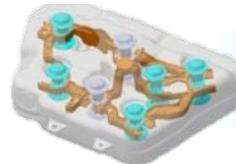


技術構築 ⇒ 量産性の確立

◆ 電動化対応 高圧密閉仕様 (FHEV&PHEV Tanks)



外部補強構造 ⇒ 内部支柱構造



更なる軽量化

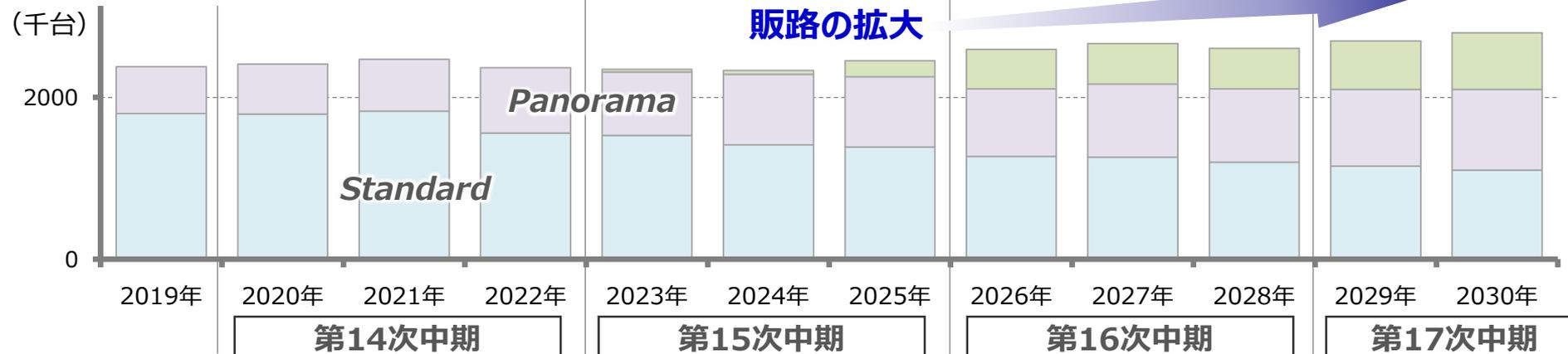
◆ 低コストスタンダード仕様 (Conventional Tanks)



流用/長用化
⇒ 生産性向上、投資抑制

主力製品の方向性（サンルーフ）

〈生産台数見通し〉



〈開発進化〉

◆ 超軽量薄型ルーフモジュール開発 (EV車に向けて)

中国市場で戦える競争力の高いサンルーフをグローバルに展開

自動車メーカーニーズを見据えて軽く薄く



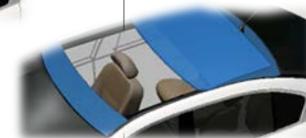
◆ パノラマ仕様の拡大



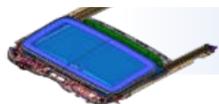
新構造パノラマ製品開発



ハイエンド向けフラッグシップモデルの拡大



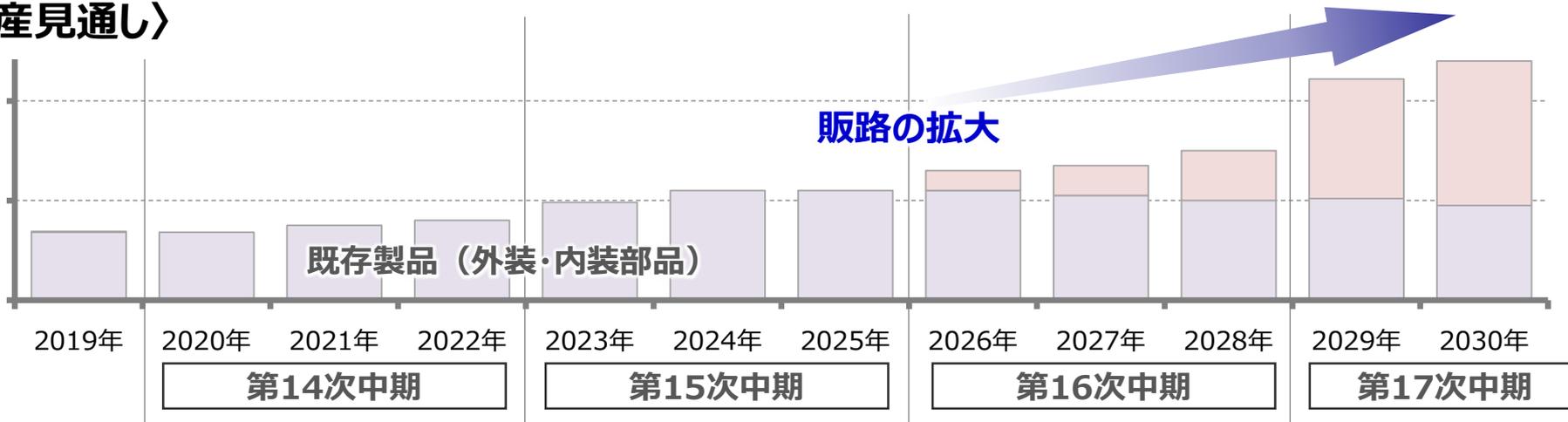
◆ 低コストスタンダード仕様



仕様最適化により収益性向上



〈生産見通し〉



〈技術進化〉

開発力/技術力の構築

モジュール製品の拡大

◆ モジュール化技術



スペックテスト
商品性評価



モジュール製品展開

最軽量化技術（カーボン製品）



CFRP技術の進化

◆ 成形・塗装拡大



・タイ 1,600t導入
・鈴鹿 3,500t導入予定

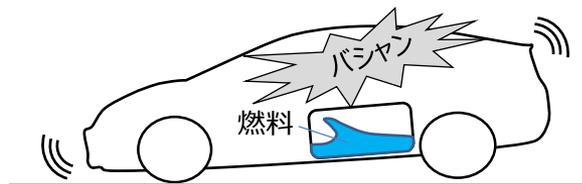


Honda以外の受注拡大

二輪部品拡大（アジア展開）

スロッシュノイズとは

車両停車時にタンク内の燃料が揺れ動き発生する音



Before

実験・測定



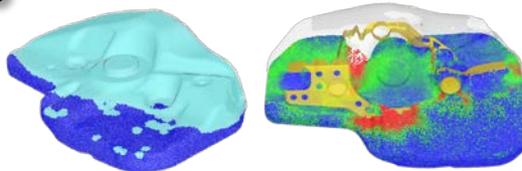
繰り返し
試験



波消し板
形状変更・改修

After

シミュレーション



複数の形状を同時に計算



波消し板
形状検討

気体と液体をモデル化した
独自シミュレーション技術を開発



燃料系最大のカンファレンス
『tank.tech2019』で講演

開発フロー



CAEによる効率アップ・開発スピードアップに取り組み開発費削減を進める

トピックス

八千代工業陸上競技部

第61回 東日本実業団対抗駅伝競走大会

- ・2020年11月3日（火・祝）
- ・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
および園内特設周回コース



Pick Up !



丸山 竜也選手
(柏原工場 PFT・組立課)

2020年戦績

- 1月 2020大阪ハーフマラソン **優勝**
 - ： (コロナ影響による大会中止)
 - 7月 ホクレンディスタンスチャレンジ **日本人2位**
 - 9月 第68回 全日本実業団対抗陸上 **日本人8位**
- 2020年度
10000m公式記録 日本人9位
(2020年10月29日時点)

ニューイヤー駅伝出場権獲得へのご声援よろしくお願ひします

ヤチヨ所属パラアスリート 土田和歌子選手

車いすマラソン



大分車いすマラソン2020

2020年11月15日（日） 10時00分スタート
大分県庁前スタート 42.195km

パラトライアスロン



コロナ禍以前の獲得ポイントを保有
来年以降のレースでポイント上積みを狙う

TOKYO2020の出場を確かにするトップクラスのタイムを狙う

今後の土田選手の活躍にご期待ください

